

質問に対する回答について
 工事名) 秋田自動車道 黒沢トンネル工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	割掛対象表参考内訳書の【準備工事費】工事車両泥落とし装置費で数量内訳(参考)に「・特記仕様書による」とありますが、特記仕様書に数量内訳が見当たりません。数量内訳をご教示お願いします。	特記仕様書 14-4 (2) 及び工事工程表に示す、土運搬期間に係る数量を貴社の施工計画に基づき、必要な費用を計上してください。
2	数量明細書 8/16 の 8- (3) 鉄筋 B の黒沢橋数量で 0.310 とあります。共通仕様書では鉄筋 B は継手の種類が「ガス圧接継手・機械継手」とありますが、図面等では記載がありません。継手種類と数量を明示お願いします。	設計図書に示すとおり、鉄筋 B のうち、黒沢橋の数量は、0.202 t です。また、設計図(橋梁下部工) 51/56 を参照ください。
3	特記仕様書 P34 集水ます TypeB の「DC-0.70・0.70・0.70」は終点側明り・坑門工の 1 箇所と考えられますが、図面では「DC^-0.70・0.70・0.70」となっています。どちらが正解かご教示お願いします。	土木工事共通仕様書 5-4-2 (4) に記載のとおり、集水ます TypeB の種別には「DC^-0.70・0.70・0.70」も含まれます。
4	トンネルズリ冬期仮置き場は設計図面(本線)の位置図の上り線側に明記されています。参考図面のトンネル仮設平面図に記載の「ずり仮置き場」は下り線側です。冬期仮置き場は上り線電気室ヤードと考えてよろしいでしょうか。そうでない場合はご教示お願いします。	冬期仮置き場は、特記仕様書 7-1①に記載する所在地を想定しております。
5	特記仕様書 31-2 道路掘削(1)種別の道路掘削土砂 A2 の 2)に「築堤盛土部への運搬」とありますが、築堤盛土部の位置をご教示お願いします。	設計図(越中畑盛土場)を参照ください。

6	<p>設計図(参考図)23/39, 24/39 に本線内工事用道路平面図があります。STA43+20～STA58+00 の本線内工事用道路は通り抜けが出来ると考えてよろしいでしょうか。ご教示をお願いします。</p>	<p>Ⅱ期線の土工工事施工箇所が本線内工事用道路となります。よって、通り抜けの可否は貴社の施工計画に基づき、お考えください。</p>
7	<p>本線内工事用道路平面図の STA50+00～STA51+20 の田代沢橋区間は設計図面下側に新設橋梁を迂回するように記されています。一方、工事用仮栈橋は STA51+20 より田代沢橋 A1 橋台方向に下り、町道越中畑田代沢線に接続し工事用道路設置工⑰に取付くと思われま。本線工事用道路と工事用仮栈橋の取合いをご教示をお願いします。</p>	<p>工事用仮栈橋と町道越中畑田代沢線を拡幅する工事道路設置工Dが直接取付くものとしてお考えください。</p>
8	<p>特記仕様書 31-26 工事用道路土工(1)定義に「工事用道路掘削 軟岩」とあります。作業内容に「本線における軟岩掘削…」とありますが、本線の対象位置(測点位置)をご教示をお願いします。</p>	<p>本線の対象位置(測点位置)は、貴社の施工計画に基づき、お考えください。</p>
9	<p>設計図(橋梁下部工)18/56 の「補強リング、固定金具」の表(杭1本当り)においてUボルト(D32用)：90本と記載されておりますが、主筋(D32)K1、K2は杭1本当り計20本で、「補強リングと主筋金具配置図」にはUボルトM12(D32用)が20本記載されております。Uボルト(D32用)の本数は杭1本当り100本となり、合計(杭12本)で1,200本ではないのでしょうか、ご確認願います。</p>	<p>設計図(橋梁下部工)18/56 場所打ち杭の4-4断面から以深の主筋(D32)は、K1のみになります。 よって、Uボルトは設計図に記載のとおり、杭1本あたり90組となります。</p>
10	<p>設計図(越中畑盛土場)13/36 の「Du-Po φ300(A)(B)」の高密度ポリエチレン管(有孔管)、(無孔管)はどちらもシングル管でしょうか。それぞれご教示をお願いします。</p>	<p>土木工事共通仕様書 5-4-1 (3) に示す表に適合する材料を使用してください。</p>